

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆8月の物価2.7%上昇、3カ月連続で伸び縮小 政府エネ補助が背景

・総務省が発表した8月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は変動の大きい生鮮食品を除く総合が111.6となり、前年同月と比べて2.7%上昇。政府が電気・ガス料金の補助を7月に再開し、3カ月連続で伸び率は縮んだ。エネルギー価格は3.3%低下した。生鮮除く総合指数の上昇は48カ月連続。伸びが2%台になったのは24年11月以来となる。

◆「置き配」配達員がオートロック解錠 国が支援、安全と便利どう両立

・玄関前に荷物を届ける「置き配」の普及へ、マンションのオートロックを複数の宅配事業者が解錠できる仕組みづくりを政府が後押しする。中小や委託先など大手以外を含む業界横断の連携を促す。敷地に第三者が立ち入ることへの住民の不安は根強く、安全と利便性を両立させながら持続可能な宅配網をめざす。

◆ビジネスケアラー300万人時代 介護との両立支援、職場で悩み相談も

・団塊世代が全員75歳以上の後期高齢者となる「2025年問題」を受け、働きながら家族を介護する「ビジネスケアラー」への支援が課題となっている。企業は介護を担う働き盛りの世代をサポートすべく、仕事との両立支援を強化する。散歩や旅行で介助を頼むなど、介護保険外のサービスを活用する動きも広がる。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆「給湯省エネ事業」撤去加算が予算7割に到達 立入調査も告知

・経済産業省は同省が実施する「給湯省エネ2025事業」で、電気温水器・電気蓄熱暖房機の撤去に対する加算措置の申請額(予約含む)が予算枠の70%に達したと発表した。あわせて補助対象住宅への立入りを含めた現地調査を今後実施する方針も明らかにしている。撤去加算の予算額は、設置事業とは別に32億円を確保している。

◆8月ハウスメーカー受注、受注増は4社に減少 8社が前年割れで低調

・ハウスメーカー各社が発表した8月の戸建て注文住宅の受注速報値(旭化成ホームズは集合住宅を含む)によると、前年同月比で受注増となったのは4社で、前月から3社減少。一方、受注減は8社に上り、旭化成ホームズとヒノキヤグループは前月の2ケタ増から一転して2ケタ減に。大和ハウス工業と積水化学工業は2カ月連続の増加。

◆8月住宅展示場来場者、今期初の増加 累計減少幅も縮小

・住宅展示場協議会と住宅生産振興財団が公表した8月の住宅展示場来場者組数は、前年同月比0.6%増の18万7612組となり、微増ながら今期初めて増加に転じた。2025年度累計(4～8月)は、同5.1%減の103万2548組で、減少幅は前月より1.2ポイント縮小。地域別では、北海道、信越・北陸、東海、中国・四国、九州・沖縄の5エリアで増加。

《 注目商品 》

■タカスタンダード、延長保証サービス開始 キッチン・バスなど10月から

・2025年10月から「Takara standard 延長保証サービス」を開始。システムキッチンやシステムバス、洗面化粧台を対象とした保証サービスで、延長保証サービスは、5年保証プランと10年保証プランの2種類。対象商品の引き渡し日もしくは利用開始日から保証が始まる。



■LIXIL、取替窓「リプラス」に寒冷地向け引き違い窓

・既存のアルミ窓をカバー工法で樹脂窓へと容易に交換できるリフォーム窓「リプラス」から、寒冷地に適した「居室仕様 EWタイプ」を追加して発売。引き違い窓のみ(複層ガラス、トリプルガラス)の設定で、間口の縮小や連段窓には非対応。



■永大産業、床暖房対応のPB基材フローリング

・床暖房対応シートフローリング「Eグリーンフロア」を発売。低比重で床暖房対応可能なフローリング用パーティクルボード基材を開発。床暖房仕上り材として使い、ホットカーペットにも対応。へこみ傷・すり傷・摩耗に強く、汚れが落ちやすい。

